

令和3年度 高志中学校1年 「高志学」外部講師リレー講座①

- 1 期 日 6月17日(木)
- 2 場 所 福井県立高志中学校 若葉食堂
- 3 講 師 南保 勝(福井県立大学地域経済研究所長)
- 4 参加生徒 90名
- 5 報 告

南保先生は、産学連携の在り方や地場産業の発展に関する研究をしておられ、福井県の誕生、経済と産業・企業についてお話をいただきました。近世・明治期の福井県は、三国・敦賀・小浜が物流の拠点として栄え、織物や金属加工品など福井県内で生産された工産物が日本各地に流通していることを学びました。南保先生は、「このような歴史やその中で生まれた繊維産業やメガネ枠産業、伝統的工芸品産業に我々は誇りやプライドを持たなければならない。そして、東京の力の限界が見えてきている今、新しい時代の生き方、暮らし方を考え、地方として独自のビジョンやアイデアを育てていくこと、人間力を養うことが大切である。」と述べられました。

[生徒の感想]

- ◆福井県は伝統的工芸品が7個もあつたり、子育てがしやすい環境が整っていたりして、誇れる部分がたくさんあることがわかりました。一方で、人口が伸びなかったり、経済規模が小さかったりと改善すべきところがあるので、これからもっと福井について学び、魅力を発信していきたいです。
- ◆福井県の産業や経済、福井県の未来について少し難しいお話でしたが、とても興味深かったです。私は大人になったら、福井県の発展につながるような仕事に就きたいと思います。そのためには、福井県が抱えている課題を知り、「福井県だからできる。福井県だけの〇〇」を見つけられるようしっかりと学びたいと思いました。

